

令和 6 年度

坂井市立三国病院経営強化プラン点検・評価書

令和 7 年 3 月

坂井市立三国病院経営強化プラン評価委員会

評価書

【経営強化プランP18～P20 数値目標、収支計画、具体的取り組みの評価】

坂井市立三国病院経営強化プラン点検・評価書

◆ はじめに

- ・坂井市立三国病院経営強化プラン評価委員会は、坂井市立三国病院経営強化プラン（以下「強化プラン」という。）の点検・評価を実施した。

＜評価委員の主な意見＞

- ・入院数と透析数が大きく下回ったとあるが、三国病院から空きベッドの情報が来るが、大きくベッドが空いているという情報が見たことがない。
- ・病院の肝は内科であり整形。しっかり連携して進めていくために、「坂井地区医療・在宅サービス空き情報共有システム」を使用していただければ、高い効果を得られると思う。是非先生方、病院一丸となってデータを入れていただき地区医師会の先生方としっかり連携しながらやっていただきたい。
- ・8千万円という赤字、原因があると思う。その原因が何かという所を追求していかなければ良くはならない。資金繰りといったところで市からもらっていけば金額のところを考えなくてもいいが、やはり市民から見ると税金という形になる。無駄な資金の使い道にならないように経営をやっていただきたい。
- ・三国病院の強み、もっと市民にアピールすべき。市民とのコミュニケーションをどうやっていくかをしっかりと考えていただき、市民を巻き込んだうえでの活動もやっていただくと自ずと数字に表れてくると思う。
- ・給与費比率は72%。以前総務省が出していた数字で70%を超えるのは、はっきりいって非常に危険。今はそうだともちろん言っていないが、昔はそういうことも言っていたくらいの話し。目標値くらいだと材料費も患者数を考えるとこういう事なのかなと思う。
- ・売り上げをどうするかという事を考えた方が多分いい。かつ併せて長期的なスパンで医師を確保していただく。ただ、しばらくの間現有勢力で頑張っていただかない

と。どう増していくかというのは、やはり皆さんで考え、みんなで実行していくという気持ちがないと。幹部の方が話し合って、内科と整形の医師の数と売り上げを考えると、内科をもう少し伸ばすというのが妥当な線だと思う。数字の話なので何とも言えないが、事務局は事務なので、医師を中心にコメディカルの皆さん、看護師の皆さんでどうしていくのかということを考えていかなければならないと思う。

- ・ 何とか10人くらいという所を0.5人でも1人でも少しずつでも皆さん一緒に力を併せて、ここを何とか残していけたらというところへ目標を立てていくという事が実現可能な目標としていけるのか。
- ・ 病床利用率が70%という事であれば、常時3割誰もいない、部屋が空いているという事。そこをどうしていくという事が出てくるのかなと思う。建前上そういったところに併せて看護師さんや、それに併せた患者数の検査の方とかいるはずなので、本当に空いているのであれば、急性期の部分ですが、少し減らすことによって逆に看護師さんだったり医師の負担も軽くなる可能性もあると思う。それは今やることではないと思う。将来、いろんな努力を尽くして空いているんだということであれば、客観的に医療資源の無駄使いということになる。他のことを、せっかく看護師さんがいるのならやってもらった方がいい。最後にはそういう事にもなるのかなと思う。まずは今、立てたプランをやっていただくことがいいのかなと思う。

- ・評価にあたっては、強化プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の４段階評価基準による評価を行った。

＜評価説明＞

評 価	評価の基準	
◎	計画、目標数値を大きく上回った	(+10%超)
○	計画、目標数値をほぼ達成した	(+10%まで)
△	計画、目標数値をやや下回った	(-10%まで)
×	計画、目標数値を大きく下回った	(-10%超)

＜評価＞

・経営の効率化

【強化プランP 1 8 目標達成に向けた具体的な取り組み】

1. 安定した患者数確保

- ・紹介入院数、救急搬送入院数、リハビリ目的紹介数は前年より増加した。
- ・高次病院への転送数は前年より減少した。

2. リハビリ患者需要への対応

- ・令和6年4月に一般病床8床削減して機能訓練室に変更した。スタッフも理学療法士1名採用した。

3. 増加する回復期患者への対応

- ・地域包括ケア病床の延在院数、利用率、稼働率は前年を大きく上回った。

4. 在宅療養支援の強化

- ・訪問看護延数は、前年を大きく上回った。

5. 職員数の維持 6. 勤務医の高齢化対策

- ・令和6年度は看護師 6名、助産師 1名、看護補助者 5名採用した。
- ・医師確保について、大きな成果はなかった。

7. 周辺病院・高齢者施設との連携強化

- ・訪問件数、ミーティング実施件数ともに増加した。

8. 外国人旅行者への対応

- ・翻訳機（タブレット）を活用しながら対応した。

【強化プランP 19 経営指標に係る数値目標の設定】

- ・入院数と透析数（登録数）が大きく目標値を下回った。
- ・外来、通所リハビリ、訪問看護は目標値を下回ったが、向上している。
- ・職員給与比率は、収益減に加えて賃上げによる影響で大きく下回った。

【強化プランP 20 収支計画】

（収益的収支）

- ・経常収益は入院収益が目標値を大きく下回った。
- ・経常費用は医業費用が計画より下回ったため達成率は101.1%となった。
- ・純損益は目標値を大きく下回り、累積欠損金の達成率は93.9%となった。

（資本的収支）

- ・建設改良費が計画より上回り不足額の達成率は57.4%となった。
- ・損益勘定内部留保資金は計画より下回り達成率は83.1%となった。
- ・一般会計補助金は計画どおりとなった。

6. 経営の効率化

【強化プランP 18 目標達成に向けた具体的な取り組み】

坂井市立三国病院経営強化プラン点検・評価書

資料No. 2-1

※実績値はR7.2月現在

No.	課題	具体的な取り組み		月平均値		
				R6年度	R5年度	前年比
1	安定した患者数確保	高次医療機関、開業医、高齢者施設からの紹介や救急依頼に対して、満床時以外は可能な限り受入れる	紹介入院数	17	16	1
			救急搬送入院数	15	14	1
		リハビリ入院目的患者の増加を図る	リハビリ目的患者の紹介数	15	14	1
		アドバンス・ケア・プランニング(ACP)により高次病院への転送を減らし、看取り患者の増加を図る	高次病院(4大)への転送数	13	14	-1
2	リハビリ患者需要への対応	スタッフ増員と病床を機能訓練室に用途変更(病床削減)				
3	増加する回復期患者への対応	高次医療機関や高齢者施設との連携を強化し円滑な入退院と地域包括ケア病床を最大限活用し利用率と回転率を向上させる	地域包括ケア病床利用率	85%	77%	8%
			地域包括ケア病床入棟数	46	37	9
			地域包括ケア病床退棟数	46	36	9
			地域包括ケア病床在院数	1,105	1,006	99
			地域包括ケア病床稼働率	88%	79%	9%
4	在宅療養支援の強化	訪問看護の強化、訪問診療の展開	訪問看護延数	177	72	105
5	職員数の維持	研修生・実習生の受入体制確立(特に看護師、助産師)	看護学校等への訪問件数	0.8	1.1	-0.3
6	勤務医の高齢化対策	大学、県への派遣の働きかけを強化する	大学医局への訪問	0.6	0.6	0.1
7	周辺病院・高齢者施設との連携強化	周辺病院・高齢者施設へ定期訪問とミーティングを開催する	連携訪問件数	2.5	1.8	0.7
			ミーティングの開催	3.5	—	
8	外国人旅行者への対応	外国人旅行者への対応体制を整備する	外国人旅行者の受入(実人数)	23.4	—	

6. 経営の効率化

【強化プランP 19 (2) (3) 経営指標に係る数値目標の設定】

坂井市立三国病院経営強化プラン点検・評価書

項 目	R 6		達成率	評価
	目標値	実績値（見込み）		
① 収支改善に関するもの				
経常収支比率	100.2	95.0	94.8%	△
医業収支比率	89.0	83.1	93.4%	△
繰入比率（総収益）	16.7	17.7	94.4%	△
繰入比率（医業収益）	20.1	21.6	93.0%	△
② 経費節減に関するもの				
職員給与費比率	65.9	72.4	91.0%	△
材料費比率	15.0	15.9	94.3%	△
③ 収入確保に関するもの				
一日平均入院患者数（人）	85.0	73.6	86.5%	×
一日平均外来患者数（人）	270.0	262.7	97.3%	△
透析登録者数（人）	45.0	39.8	88.4%	×
病床利用率（%）	88.0	75.8	86.2%	×
地域包括病床利用率（%）	90.0	84.2	93.6%	△
一日平均通所リハビリテーション利用数（人）	15.0	12.9	86.0%	×
月平均訪問看護利用数（人）	200.0	180.6	90.3%	△
④ 経営の安定に関するもの（単位：百万円）				
当期末保有現金	718.0	596.4	83.1%	×
繰入金（収益的収支）	400.0	400.0	100.0%	○
当年度末処理欠損金	△ 2,036	△ 2,160	93.9%	△
企業債残高	1,473.0	1,556.7	94.3%	△

※達成率は、実績が0円以上50百万円未満の場合を105%、50百万円以上100百万円未満の場合を110%、100百万円以上200百万円未満を115%、200百万円以上を120%以上とした。

6. 経営の効率化

坂井市立三国病院経営強化プラン点検・評価書

※実績値はR7.2月現在

入院数（1日平均）

診療科	目標値	R6年度	比較
内科	55	45	▲ 10
整形外科	25	24	▲ 1
産婦人科	3	3	0
小児科	1	1	0
眼科	1	1	0
耳鼻科	1	1	0
合計	86	75	▲ 10
病床利用率	89%	77%	

(過去の実績数)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
内科	40	51	56	58	48	41
整形外科	14	16	17	15	16	24
産婦人科	2	3	3	3	3	4
小児科	1	1	1	1	1	1
眼科	1	1	1	1	1	1
耳鼻科	0	0	0	0	0	1
外科	3	3	3	0	0	0
合計	61	75	81	78	69	72
病床利用率	58%	71%	77%	74%	66%	69%

外来数（1日平均）

診療科	目標値	R6年度	比較
内科	90	86	▲ 4
透析	22	20	▲ 2
整形外科	40	41	1
小児科	35	32	▲ 3
産婦人科	20	22	2
眼科	20	20	0
耳鼻科	20	18	▲ 2
その他	23	24	1
合計	270	263	▲ 7

(過去の実績数)

診療科	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
内科	91	89	78	80	85	84
透析	12	12	15	17	18	19
整形外科	36	34	30	31	36	40
小児科	32	31	22	21	27	36
産婦人科	19	19	18	19	20	22
眼科	20	20	17	19	19	20
耳鼻科	17	16	12	13	15	18
その他	29	27	23	21	21	23
合計	256	248	215	221	241	262

6. 経営の効率化

【強化プランP20 (4) 収支計画】

【単位：百万円】

項 目	R 6		達成率	評価
	計 画	実績値（見込み）		
〔収益的収支の主なもの〕				
医業収益 a	2,191	2,065		△
医業外収益 b	163	169		
通所リハビリ収益 c	22	18		
訪問看護収益 d	13	12		
経常収益 a+b+ c +d (A)	2,389	2,264	94.8%	
医業費用 e	2,236	2,207		○
医業外費用 f	120	123		
通所リハビリ事業費 g	7	5		
訪問看護事業費 h	23	23		
経常費用 e+ f +g +h (B)	2,385	2,358	101.1%	
経常損益 (A)－(B) (c)	4	△ 94		△
特別損益 (i)	0	0		
純損益 (c)+(i)	4	△ 94		
累積欠損金	△ 2,036	△ 2,160	93.9%	
〔資本的収支の主なもの〕				
企業債 a	61	49		×
他会計出資金 b	100	99		
収入計 a+b (A)	161	148		
建設改良費 c	24	54		
企業債償還金 d	231	228		
支出計 c+d (B)	255	282		
不足額 (A)－(B)	△ 94	△ 134	57.4%	
補填財源				
(損益勘定内部留保資金)	718	596	83.1%	×
〔上記計画に含まれる一般会計補助金の総額〕				
一般会計補助金	500	500	100.0%	△
うち基準内	420	420		
うち基準外	80	80		

資料No. 3

・診療科別収益状況(入院)

【単位：人、千円】

診療科	年度	令和5年度(A)		令和6年度見込み(B)		増減【(B)-(A)】	
		1日平均患者数	入院収益	1日平均患者数	入院収益	1日平均患者数	入院収益
内科		41	526,610	44	560,490	3	33,880
外科						0	0
小児科		1	11,531	1	11,629	0	98
産婦人科		4	79,714	3	59,946	△1	△19,768
整形外科		24	330,215	25	339,093	0	8,878
眼科		1	27,683	1	30,766	0	3,083
耳鼻咽喉科		1	9,678	1	9,754	0	76
合計		72	985,431	75	1,011,678	2	26,247

・診療科別収益状況(外来)

【単位：人、千円】

診療科	年度	令和5年度(A)		令和6年度見込み(B)		増減【(B)-(A)】	
		1日平均患者数	外来収益	1日平均患者数	外来収益	1日平均患者数	外来収益
内科		84	253,899	86	237,969	2	△15,930
透析内科		19	154,485	20	160,087	1	5,602
小児科		36	45,997	32	39,312	△4	△6,685
産婦人科		22	34,976	22	35,220	0	244
整形外科		40	86,267	41	92,152	1	5,885
眼科		20	33,474	20	32,849	0	△625
耳鼻咽喉科		18	23,317	18	25,396	0	2,079
その他		21	35,273	23	37,768	2	2,495
合計		260	667,688	262	660,753	2	△6,935

損益状況

	R 6 年度強化プラン	R 6 年度実績見込	比較
<病院事業収益>	2,390,410,515	2,260,623,384	▲ 129,787,131
<病院事業費用>	2,386,151,321	2,358,347,106	▲ 27,804,215
1. 医業収益	2,191,999,915	2,061,498,625	▲ 130,501,290
(1) 入院収益	1,129,310,000	1,011,614,348	▲ 117,695,652
(2) 外来収益	672,435,000	654,986,376	▲ 17,448,624
(3) その他の医業収益（繰入以外）	93,339,915	96,224,900	2,884,985
(3) その他の医業収益（一般会計）	296,915,000	298,673,000	1,758,000
2. 医業費用	2,235,784,445	2,206,797,991	▲ 28,986,454
(1) 給与費	1,385,000,000	1,354,281,444	▲ 30,718,556
(2) 材料費	280,000,000	279,621,033	▲ 378,967
(3) 経費	384,000,000	385,533,669	1,533,669
(4) 減価償却費	185,000,000	185,000,000	0
(5) 資産減耗費	40,500	40,500	0
(6) 研究研修費	1,743,945	2,321,345	577,400
	0	0	0
3. 医業外収益	163,475,600	168,813,945	5,338,345
(1) 受取利息及び配当金	1,000	64,094	63,094
(2) 補助金	80,000,000	80,000,000	0
(3) 負担金交付金	24,085,000	22,327,000	▲ 1,758,000
県補助金	18,240,000	19,629,400	1,389,400
(4) 患者外給食収益	128,915	120,416	▲ 8,499
(5) 長期前受金戻入	15,220,685	15,220,685	0
(6) その他の医業外収益	25,800,000	31,452,350	5,652,350
(7) 雑収益	0	0	0
通所リハビリ収益	21,975,000	18,144,559	▲ 3,830,441
訪問看護収益	12,960,000	12,166,255	▲ 793,745
4. 医業外費用	120,990,120	122,768,338	1,778,218
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	33,254,000	32,170,089	▲ 1,083,911
(2) 患者外給食材料費	1,420,000	1,061,416	▲ 358,584
(3) その他医業外費用	16,316,120	16,347,137	31,017
(4) 繰延償却	0	0	0
(5) 消費税及び地方消費税	0	0	0
(6) 保険料	0	0	0
(7) 雑損失	70,000,000	73,189,697	3,189,697
5. 特別利益	0	0	0
(1) 固定資産売却益	0	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	0	0
(3) その他特別収益	0	0	0
6. 特別損失	376,756	376,756	0
(1) 固定資産売却損	0	0	0
(2) 固定資産除却損	0	0	0
(3) 特損損失	0	0	0
(4) 臨時損失	0	0	0
(5) 過年度損益修正損	376,756	376,756	0
(6) その他特別損失	0	0	0
当年度純利益	0	0	0
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
当年度未処分利益剰余金	0	0	0
通所リハビリテーション事業費	6,500,000	4,983,290	▲ 1,516,710
訪問看護事業費	22,500,000	23,420,731	920,731
経常利益	4,259,194	▲ 97,723,721	▲ 101,982,915

坂井市立三国病院経営強化プラン評価委員会 委員名簿

職名	氏名	所属等
委員長	新開 和典	坂井市副市長
国病院経営強化プラン	飴嶋 慎吾	三国病院院長
委員	山田 秀樹	坂井市議会教育民生常任委員長
委員	山村 修	福井大学医学部地域医療推進講座教授
委員	越野 雄祐	坂井地区医師会代表
委員	重森 宣彦	税理士 坂井市監査委員
委員	岡田 寛隆	福井県健康福祉部地域医療課長
委員	阿部 和男	三国病院副院長
委員	大木 央	三国病院副院長
委員	松本 隆	坂井市総務部長
委員	小川 宣成	坂井市財務部長
委員	森瀬 明彦	坂井市健康福祉部長

坂井市立三国病院経営強化プラン評価委員会 開催経過

開催日	議題
令和7年3月27日(木)	令和6年度経営強化プランの点検・評価について